

## タイで県産食品をPR

県内13社 商談会や企業訪問



タイ・バンコクでの商談会で、自社商品をアピールする県内企業関係者

【バンコク浜田耕治】県内の食品関連企業13社でつくる「ビジネス訪問団」が22～25日、タイの首都バンコクを訪れ、商談会や企業訪問を行った。人口減で日

本国内の市場が伸び悩む中、経済成長に伴う健康ブームに沸くタイで商品・製品をアピールした。

中小企業のアジア進出を支援する県が北九州市、北九州貿易協会と連携して実施した。緑茶や菓子の製造販売会社のほか、食品加工機械や包装資材メーカーなどが参加した。

商談会で雑穀米を製造販売する「種商」（久留米市）は「タイは米の消費量が多く、魅力的な市場。美容や健康をキーワードに雑穀米を売り込みたい」と期待を込めた。緑茶ティーバッグなどを10カ国に輸出する「中山吉祥園」（八女市）

の経営者は「緑茶にはガン予防や美白効果があることを訴えたい」と話した。